

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ダッシュくん。Fit 明野		公表日		令和 8 年 2 月 20 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		1ルームなので、子どもを常に見ておくことができるので良いと思う。 近くの公園がいくつかあるので利用している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		子どもを見守りやすく関わりやすい人数だと思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		視覚的にスケジュールを書いたり、次の行動が分かりやすくなっていると思う。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		床のものがなく、どこに何がどのくらい見えるように分かっており、過ごしやすと思う。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	部屋の中でスペースを分けられるようにしたり、隣の学習塾のスペースをかりることができる。	1ルームなので別室はないが、パーティションなどで仕切りを作り、活用できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12		常に子どもたちの日々の様子について話し合うことができる環境になっている。 日々のミーティングで共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		保護者向け評価表に加え、日頃から保護者との関係づくりができており、業務改善につながっている。 日々のミーティングで共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		常に話し合える環境になっており、業務改善につながっている。 日々ミーティングで共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4		第三者から外部評価はあまり聞いていないので、積極的に聞いてみようと思う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		多くの研修に参加することができ、学ぶ機会が多くあると思う。 最低月に1度は自社で設けている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	2	子どもの成長段階や特性に応じて支援プログラムが作成されていると思う。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	1	保護者・相談員の方等とよく話し合い適切な支援計画が作成されていると思う。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		常に確認できる場所に丁寧に保管しており、共通理解できている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	2	計画に沿って、5領域を意識しながらできていると思う。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	毎日、個別記録を行い、ファイリングをして保管できている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		一人一人に応じた支援内容を具体的に設定されていると思う。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		活動を多く行い様々な体験活動を行えていると思う。 児童発達支援管理責任者と協力している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		製作活動、みんな遊びを含め、内容が固定化されずに行えている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12		個別活動、集団活動どちらも1週間のうちに振り分けて行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		朝に打ち合わせや確認をしたり、前日から話し合いができています。日々のミーティングで共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		子どもを送迎した後に、職員でふりかえりを行っている。日々のミーティングで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		手書きで1人ずつ丁寧に記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		月に1回ほどモニタリングがあり、子どもの様子について話し合いができています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		相談員さん含め、多くの方が参加し会議が行われている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		様々な機関と連携しながら、体制を整えられている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12		情報共有を学校を含めてできおり、併行利用もできている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12		学校とも支援内容を確認しながら支援できている。努力している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	3		児童発達センターとはあまり連携が取れていないと思うから連携して良いと思う。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	1	餅つきなど。	地域の他の子どもとの交流はあまり行っていないので今後行っていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		日頃から保護者と連絡を取り合い、子どもの状況を伝えることができています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12		保護者会や参観日も含め、保護者の方とも交流できる会が行われている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		利用開始前や体験の時にしっかり説明できている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		ご家族が何を求めているのか、ニーズを聞き支援を出来るようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		事前に支援計画を渡し支援計画をもとに行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		常に話を聞ける体制になっていて、支援を行っていると。思う。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12		保護者会を含め、保護者同士で交流する機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		迅速に丁寧に対応できている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		常に写真、文章を含め発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		保護者専用パスワード等留意できている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		視覚的に紙に書いたり、工夫して配慮できていると思う。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	1	子ども食堂と交流を持ち、地域と関わりが持っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		保護者にも説明し、周知できている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		緊急時には常に対応できるようにしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12		事前に保護者と連絡を取りながらできている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		アレルギー調査表をもとにできている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		安全計画を作成している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		ご家族に事前に周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		常に話し合い対策している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		研修会に参加したりしている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12		身体拘束を行わなくて良い方法を常に考えてできている。		